

レタス



育苗

散水時に使用する



- **根っ酵素1000倍液** → 根を強くし、生長を促進。
- **花咲くCa液1000倍** → 葉を厚くし、充実させる。

4日間隔で交互に、葉の上からタツブリ散布する

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
土作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> ● ラクトバチルス600g → 排水よく、乾燥しにくい肥沃な土を作る。 ● 堆厩肥1トン以上 ● 硫安80kg (秋まきの場合は100~120kg) ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分20~25kg。
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 畑の大将<青> 60kg ※pH5.5以下 (特に5.0以下) になると極端に生育が悪くなる。 pH6.5以上 (特に7.0以上) になるとビッグベイン病が増える。 ● マンゾク粒状50kg → 生長促進、土壤病害・スソ枯れ対策。 ※もし特に速く生長させたい場合は硫安20kgを追加。
定植時	定植前後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液 → 初期の根張り促進、病害軽減。
初期	葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液を葉面散布 → 根・生長の促進 前半は特に根の力をつけることが大事。 ★特に生長が弱い場合、スソ枯れ・萎黄病が心配な時は灌水。 施用原液3~10リットルを灌水。(300倍前後) ● アミノ酸液500倍を葉面散布 (チッソ補給) 肥切れの時に。 ● 花咲くCa液500倍 → 生育を引締め、葉の病害対策。 ※チッソ過多、灰色カビ、細菌病が心配な時は、カルシウムを。
追肥	灌水	<p>浅根で乾燥に弱いので、灌水を充分にする。</p> <p>根っ酵素を2ℓ程度(300倍前後)加えると特に根が強く働いて、生長が進む。</p>
カルシウム追肥	通常は定植後30日、 結球前(作型により調節) ※同時施用可	<ul style="list-style-type: none"> ● 硫安20kg ● 畑の大将<青> 20kg
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 花咲くCa液500倍 → 葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上。